



出席者



木村大使



カラウード当地国連常駐調整官



モザンビーク国家災害対策院テンベ局長

2021年3月3日、モザンビーク共和国首都マプト市において、木村元（はじめ）大使、カラウード当地国連常駐調整官、ダブリエール WFP 当地事務所代表、ワイナー UNFPA 当地事務所代表、フォラーラ UNICEF 当地事務所代表、モザンビーク国家災害対策院テンベ局長、モザンビーク保健省ブランキンホ副局長出席のもと、日本政府が資金を拠出して実施されるカーボデルガード州とその周辺地域におけるプロジェクトの国際機関3機関合同開始式が行われました。

今回の協力では、国連世界食糧計画（WFP）、国連人口基金（UNFPA）及び国連児童基金（UNICEF）を通じ、食料・生計向上支援、性と性差に基づく暴力予防やリプロダクティブ・ヘルスに関するサービス拡大、避難の途上で親と離ればなれになった子どもに対するケア等を実施します。また、本支援を通じ、新型コロナウイルス感染症の影響の緩和に寄与します。

[プレスリリース（英語版）](#)